

予算決算委員会



子ども若者家庭センターのご案内



民生文教分科会

令和7年度袋井市一般会計
補正予算(第5号)
「保育所費」

問

企業版ふるさと納税による寄付金を保育所費に充当するということであるが、その使途はどのように企業に報告をするのか。

答

今回の寄付金については、申込の際に、ICTを活用した就学前教育保育の質の向上や、園務支援システムに活用してほしいという条件であったため、寄付承諾書に、御希望に沿った使用をさせていただく旨を記載している。

令和7年度袋井市一般会計
補正予算(第5号)
「育ちの森費」

問

子ども政策課が育ちの森に移転することに係る修繕料には、外壁塗装などのハード修繕も含まれるのか。

答

外壁塗装などに関しては、今回の補正には含まれていない。子ども政策課の移転に伴い、相談室が不足することから、相談室新設のための修繕について予算を計上している。

建設経済分科会

令和7年度袋井市一般会計
補正予算(第5号)
「債務負担行為補正」

問

現在施工中の袋井駅南新幹線南側の遊水池整備に際し、掘削土砂はどこへ搬出するのか。また、一日の排出量はどの程度か。

答

掘削土砂は、土質改良プラント工場などに搬出する。搬出量は、一日当たり最大約600立方メートル、ダンプカー約100台分を予定している。



遊水池整備工事現場（令和7年12月現在）

令和7年度袋井市一般会計
補正予算(第5号)
「債務負担行為補正」

問

調整池の浚渫3カ所について、上石野と上山梨の2カ所に加えて、民間事業者によって開発された可睡の杜1カ所が示されている。民間開発された場合、事業者または地域住民が浚渫する条件で寄付を受けていると思うが、可睡の杜はどのようなになっているのか。市内各地域で高齢化などによって浚渫などの管理が大きな負担になっている中、民間開発や区画整理で作られた調整池の浚渫をどこまで行政が行うのか明確化する必要があると思うがどうか。

答

民間開発に伴う協定では、管理は基本的に地元となるが、可睡の杜は大規模開発であったことから、浚渫は市、日常の草刈などは地元で管理する協定となっている。どこからが大規模開発で市がどこまで浚渫を担うかなどの基準については、今後対応を検討してまいりたい。